

ミズニラ	<i>Isoetes japonica</i> A.Braun	絶滅危惧 I 類
(環境省:準絶滅危惧)		ミズニラ科
選定理由	生育地である湿地の減少と荒廃が顕著であるうえ、大部分の生育地において生育環境の変化による種の存続へ圧迫が強まっている。	写真(村瀬正成) 
形態の特徴	鮮緑色でやわらかい夏緑性水生シダ。塊茎は2-3cm、葉は4稜のある円柱状で長さは水深により変異が大きく30cmになることもある。	
生態的特徴	低地の休耕田、放棄水田、ため池、湿地に生育する。	
分布状況	北海道から九州に分布する。岐阜県では県南西部と県南中部に分布する。	
減少要因	生育地の埋め立て、改修。湿地植生の変化による乾燥化や他の植物からの被圧。稲作における、農薬による水質悪化も考えられる。	
保全対策	湿地の保護、保全や、ため池改修時の生育環境維持活動。	
特記事項	目立たない種であるため、詳細な調査の積み重ねにより新たな生育地が発見される可能性もある。	
参考文献		

文責:村瀬正成